

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	いちご地所株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	東京都千代田区内幸町1丁目1番1号
工場等の名称	なるばーく
工場等の所在地	名古屋市緑区浦里3丁目232
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	食品・衣料・住宅関連商品等の販売
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年9月30日 ～ 令和6年12月29日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） なるばーく管理センター
		ホームページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-899-3208		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

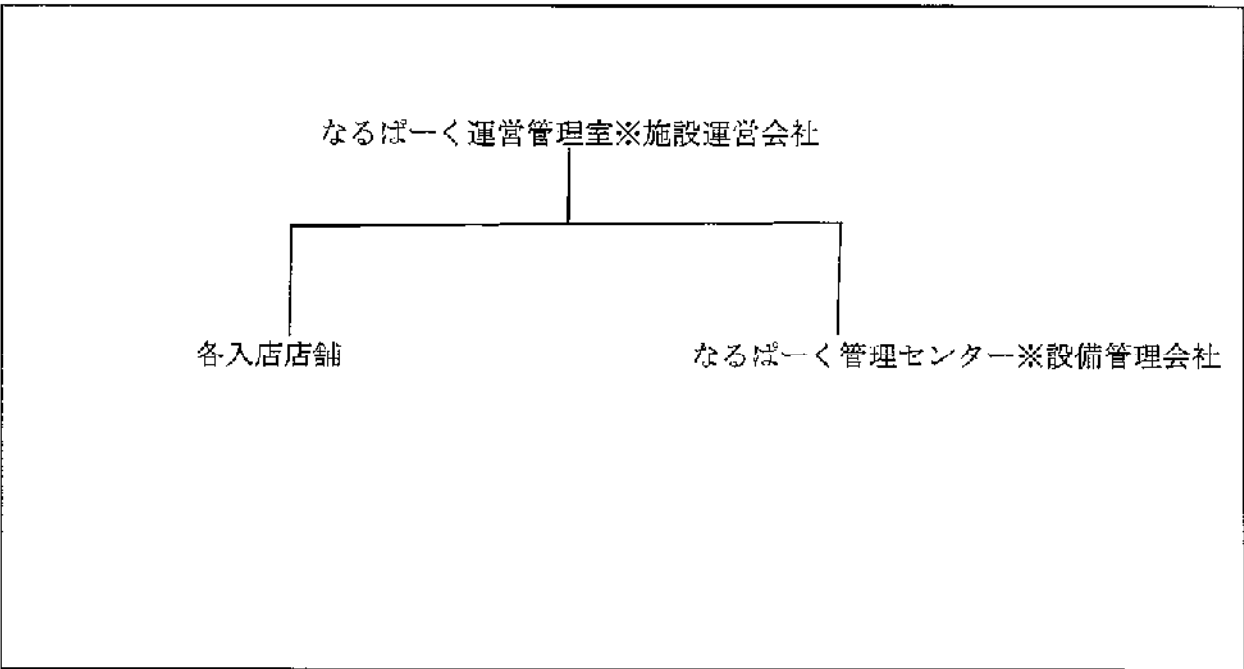
(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

有限な資源の節減・地球環境保全のため、施設内各従業員一丸となって、資源・エネルギーの節約に取り組んでまいります。

■施設エネルギー使用量の削減
令和7年度までに基準年（令和3年度）比で、3%の削減を目標に省エネに努めます。

■廃棄物リサイクルの促進
廃棄物処理会社との協力の下、施設廃棄物のリサイクルを促進致します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,518	t-CO ₂
（温室①を酸効果除去ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,518	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	2,451	t-CO ₂	2,377	t-CO ₂	2,515	2,518		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 2.6 %	▲ 2.7 %		%
温室効果ガスみなし総排出量					t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					%	%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量								
削減率（対 基準年度）				%	%	%		%
原単位あたりのみなし排出量								
削減率（対 基準年度）					%	%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

LED化等の効果で削減は出来ていますが今後もLED化及び設備更新を行い1%の削減していき営業活動と両立して達成を目指したい。 館の空調機の劣化により、館内を十分に冷やすためにエネルギー消費が不可欠だった。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
照明	既設照明のLED化の更なる促進による省エネの促進 外灯LED化、屋上駐車場・スロープ照明のLED化を実施する	CO2総排出量の2%削減	予算可能な範囲でLED化実施。
空調	・空調機器類の定期的な整備・清掃によるエネルギー効率の向上 ・気温、天候状況を1時間おきにチェックをして空調機器類の運転状況を調整する ・外冷を利用しエネルギー使用を削減する。	CO2総排出量の1%削減	エアハンドリングユニットの内部清掃実施。エアコン室外機周辺をファンや噴霧器で温度低下させて効率改善。中間期は2台の熱源機器のうち1台のみの運転。
空調	・吸収式冷温水発生機の機器の更新を実施して最新の省エネ機器により大幅な電力・ガス使用料の削減を実施したい今後提案していく	中長期計画取り組み目標	更新の提案。 更新打合せ進行中。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	産出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況